



令和4年度

6月 三大幼だより

江東区立第三大島幼稚園

園長 貞方 敦子

令和 4年 5月 31日



三大幼 HP は
こちらから

こどもたちの姿から学び考える

園長 貞方敦子

令和4年度の園生活が始まり、2か月が経ちました。こどもたちの様子を見てみると、この園生活の中で、自分の居場所や一緒にいたい友達や先生ができ、楽しいことを見つけて自分なりに園生活を歩き出しているのを感じます。時には、自分の思い通りにはいかないことも、うまくいかないこともあります。しかし、周りの支えや理解しようとしてくれる人がいるからこそ、次に進んでいった出来事も多々ありました。言動の裏にはそれぞれ理由があるのですよね。そのことを受け止め、みんなで関わりながら共に考えていく場でありたいなと思っています。だからこそ、そこに生活する人の存在は大きいです。よりよい関係、よりよい生活を創るようにしたいです。この2か月間の中で、「こどもたち、すごいな」と思ったことをいくつかお知らせします。

- ・5月15日に行われた江東こどもまつりの「青空ステージ」でパラバルーンを披露したこどもたち。当日の出来栄えに「結構できたんじゃない」と終わった後、友達同士で話していたこどもたち。できたよという実感をもてたことはすごい！なんだか嬉しそう。
- ・降園前の学級での集合時に、友達の作品を見て、「〇〇のところがいいね」と言葉を掛けたAさん。そんなふうに、言葉を掛けられるって素敵。
- ・「なんで来ないの？一緒にやろうよ」と友達に言葉を掛けるBさん。あなたの言葉に友達は気持ちが動いていたよ。
- ・3人で作っていた横縞のジェットコースター。その色塗りで、考え込んでいたCさん、Dさん、Eさん。塗りたい色がかぶってしまったようです。静かに互いに、自分の思いを言葉にしながら自分たちで解決していました。その後も場所を間違えて塗ってしまった友達に対しても、「いいよ。上から塗れば。大丈夫だよ」と声を掛け合う3人組でした。いい関係です。

私は、担任たちが毎週出す週案(週ごとの指導計画)の記録を読むことが楽しみです。私が知らなかったところでのこどもたちの生活が見られます。私たち教師は、こどもたちの姿からその子の気持ちや思いを多面的に捉え、指導の方向を考えていきます。遊びを通して、こどもたちの心と体を育てていくために、私たち教員も対話をしながら、自分で学びを深めていくことを今月も努めたいと思います。

今月の指導のポイント

年中りんご組

登園すると進んで身支度を行い、したい遊びに取り組む姿が増えています。また、同じ場にいる友達のしていることに気付き、同じ物を身に付けたり、一緒に遊んだりすることを楽しみにしている姿も見られます。気になる友達に声を掛けたり、一緒に動いたりする姿も増えてきました。引き続き、教師や友達との関わりを十分に楽しめるように援助していきます。思いが上手く伝わらない場面では、教師が互いの思いに気付くように橋渡しをしています。少しずつ、伝え方や言葉を知らせ、関わられるようにしていきます。

今月は、プールでの水遊びも始まります。プールだけでなく、暑い日には色水や砂場で水を使って遊ぶようにし、水の気持ちよさを感じられるようにします。水遊びの支度や、着替えの始末の仕方などを再度確認し、自分で取り組めるようにしていきます。

年長にし組

お店ごっこの取組を通して、グループの友達と一緒に活動する楽しさを感じたこどもたち。必要なものを相談する場面では、自分の思いや考えを伝えたり、友達の言葉に耳を傾けたりする姿が見られました。時には、意見が違ふことで活動が進まないことや、困ってしまうこともありました。そのような場面では、お互いの話を聞きあえるようにしたり、教師も仲間の一員になって参加したりしています。引き続き、自分の考えを伝えたり、相手の思いを聞いたりしながら、友達と遊びや活動を進めていくことを経験できるようにしていきます。

今月から始まる水遊び・プール遊びでは、昨年度の経験を思い出しながら、水遊びの約束を守り、安全に遊ぶようにしていきます。また、水の気持ちよさや解放感を味わい、水に親しめるようにしていきます。泥だんご作りやシャボン玉、石鹸遊びなどの遊びでは、自分なりに繰り返し試したり工夫したりし、じっくりと遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきます。